

## 目次:

|                        |   |
|------------------------|---|
| ハイライト                  | 1 |
| エアバッグ類の適正処理<br>励行のお願い  | 1 |
| 第二回使用済自動車判別<br>ワーキング報告 | 2 |
| 全国地域講習会開催日程            | 2 |
| 最新市況状況                 | 3 |
| 編集後記                   | 3 |

## ハイライト:

- 第二回使用済自動車判別ガイドラインワーキンググループ開催 (9月1日)
- 予算枠を全て使い果たし、スクラップインセンティブ終了 (9月8日)
- 3R推進月間始まる。ELV機構、新橋駅頭でピラ配り (10月1日)

### ～速報～

恒例の「3R推進月間」初日の10月1日、日本ELVリサイクル機構本部では、日本自動車リサイクル部品販売団体協議会、トラックリファインパーツ協会などのご協力のもと、新橋駅頭(通称ポッポ広場)一帯で自動車リサイクルの推進を訴えるピラ「あなたのクルマも大事な資源です」1000枚をポケットリシューと共に通行人に配布しました。このピラ配りは、平成18年から毎年行っており、5回目を数える今回は、経産省自動車課リサイクル室の皆さん、自工会の皆さんが応援に駆けつけてくれた他、「リサイクル法」の飛び入りもあって一段と盛り上がりました。終了後、本部会議室に移動してビールで喉を潤し、3R推進月間の成功を祈念しました。なお、今後、各地においても同様の取り組みが行われる予定です。■



配り終えてマスコット「リサイクル法」とのとの記念撮影



## エアバッグ類の適正処理励行に関するお願い

エアバッグ類の適正処理に関する問題が取りざたされています。自動車リサイクル法では、自動車解体業者の義務として、車両解体工程でエアバッグ類を取り外して自動車メーカーに所定の方法で引き渡す、あるいは、自動車メーカーとの契約により車上作動を行うことが定められています。ELV機構では以前より、解体時に取り外したと思われる中古エアバッグ類が相当数ネットオークションに中古部品として出品されている実態に着目し、行政その他へ対策をお願いして参りました。また、産構審・中環審の合同委員会の席上、破碎業者の団体より、相当数の未作動エアバッグ類が廃車ガラクに混入しており、シュレッダー処理の過程で火災等を引き起こす懸念があることが指摘されました。具体的には以下の事例が実際に発生しています。

- ① 解体時に取り外したエアバッグ類をネット販売し、移動報告上は作動処理済みとした。
- ② エアバッグ類未作動のまま解体してハーフカット等の商品化を行い、移動報告上は作動処理済みとした。
- ③ エアバッグ類未処理のまま廃車ガラクを破碎業者に引き渡し、移動報告上は作動処理済みとした。

これらの事例は、何れも、自動車リサイクル法に抵触するものであり、業許可の取り消しまたは一時停止、さらに、車上作動契約の一時停止または解約に繋がる等、深刻な事態を引

き起こすこととなります。経産省/環境省は本年2月、両省連名による通達を各都道府県・保健所設置市の自動車リサイクル法担当に宛て発信し、販売目的で中古エアバッグを取り外した業者に対する指導並びに厳正な措置を要請した他、自動車再資源化協力機構(自再協)も、今春より立ち入り監査の強化を行うとともに、車上作動契約の規定強化を行っております。

その結果、本年6月には、某県が解体車から取り外したエアバッグを販売したとして、解体業者を摘発、行政処分する事態が発生したほか、8月、自再協は、監査時に未作動エアバッグ搭載のハーフカット車両を発見したことを理由に、某解体業者に対し、作動処理契約の一時停止処分を行っています。また、破碎業者が全国5か所の破碎現場において、解体業者から持ち込まれた廃車ガラクを分解調査したところ、相当数の未作動エアバッグが発見されたとして、行政に対して善処方を求めました。このように、エアバッグの適正処理に関する多種多様な問題が発生しておりますが、何れの場合も、会員各社の事業遂行に重大な支障をきたす結果に繋がる可能性があります。会員各位におかれては、エアバッグ適正処理の励行に関し、今一度社内徹底を図られますようお願いいたします。■

(日本ELVリサイクル機構・事務局)

## 第2回使用済自動車判別ガイドラインワーキンググループ 合同会議

去る9月1日（水）に開催された判別ガイドラインワーキンググループ会議に関しては、概要を前号で報告しましたが、本号ではヒアリングに臨んだ各団体の主な発言概要を報告します。

### ①自販連ならびに東京トヨペット(株)

[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_02j-01.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_02j-01.pdf)  
[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_03j.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_03j.pdf)

◇ 新車販売店各社では、査定基準価格の他、年式、走行距離、自走の可否などによる独自の基準を設けている。査定価格が0円の車両は、所有者の意思確認をし使用済自動車として引き取るが、「希少価値」等により販売可能な場合は商品として下取る。

◇ ガイドラインの設置は一方策とは考えるが、あくまで一基準と考えるべきで、最終的には市場が定めるべきもの。

◇ 商品車とした場合は、必ず、使用済車とした場合より高い金額が顧客に戻る。

### ②全軽自協

[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_03j.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_03j.pdf)

◇ 使用済自動車の判断基準は、100人が100人市場価値がないと認めるものに限定すべき。

◇ 市場価値は市場が決めるので、自社の査定結果のみやすとしての情報提供に留めるべき。

◇ オークションを、使用済自動車の取引の場としても利用することを検討してはどうか。

### ③中販連

[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_04j.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_04j.pdf)

◇ 自動車を長期使用するための情報提供を行うことが望ましく、使用済自動車にすることを促進させる情報提供はすべきでない。

◇ 国内市場で需要がない場合でも、海外で需要があれば中古車として値が付き取引される。海外の中古車需要に支えられることにより国内の中古車価格相場が形成されている。

### ④日本オークション協議会

[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_05j.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_05j.pdf)

◇ 本年4～6月のアンケート調査によると、2回連続流札の車両は、約85～90%を出品者が持ち帰り、10～15%は会場買い取り。連続流札台数は、出品台数の2.8%。

◇ 各会場とも、引き取り報告済み車両、違法車等法的に問題がある車両、譲渡書類不在の車両の出品は断る。会場によっては、エンジン・ミッション欠損車、多数の部品が欠損する車両、ルーフ切断等で接合車の可能性がある車両、自走不可能車、未登録車、メーター改ざん車等を断る場合もある。

### ⑤日本ELVリサイクル機構

[http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002\\_06j.pdf](http://www.meti.go.jp/committee/summary/0004689/002_06j.pdf)

解体業者が中古車を購入し、自ラリサイクル料金を負担して解体している実態を訴え、通常解体車となる車両、査定基準価格0円で、低年式、過走行車等は使用済みと判断されるべき。

<報告者所感>

ELV機構を除くヒアリング対象団体は、車両が中古車として再販されるか使用済車として解体工程に回るかは「市場の判断に委ねる」べきであると主張している。かつて、市場の判断に任せた結果、逆有償化が進み、不法投棄や違法解体が蔓延したために所有者にリサイクル料金の負担をお願いして現在の仕組みができたことが忘れられているのではないかと。消費者には何が一番よいかとの視点で今後の議論が進むことを期待したい。

<今後の対応>

次回合同会議（10月下旬と想定）においては、自治体代表に対するヒアリングが行われ、その後、ヒアリングの結果を踏まえた議論が進められ、年末・年始ごろには一定の方向が示されるものと思われる。ELV機構では、大橋副代表理事を中心に渉外委員会の場で対応を検討して行くが、会員各位におかれては、合同会議を傍聴するなどを含め、今後の展開にご関心を持っていただくようお願いいたします。■

※Ctrlボタンを押しながら、赤字で示したURLにカーソルを合わせると各団体のヒアリング資料がご覧いただけます。

## 日本ELVリサイクル機構全国地域講習会開催日程 （中間報告）

9月中に全国で実施されたjaeraインストラクター研修会も終了し、10月以降、認定インストラクターが講師を務める地域講習会が各地で開催されます。9月29日現在で確定している各地の講習会日程をお伝えします。会員各位は奮ってご参加ください。

| ブロック | 主催者団体          | 開催日       | 開催場所      | ブロック | 主催者団体            | 開催日       | 開催場所           |
|------|----------------|-----------|-----------|------|------------------|-----------|----------------|
| 北海道  | 北自協 札幌支部       | 10月21日(木) | 未定        | 関東東  | 千葉自動車解体協同組合      | 11月19日(金) | 未定             |
|      | 北自協 空知支部       |           |           | 中部   | 富山自動車解体部品協同組合    | 11月6日(土)  | 未定             |
|      | 北自協 室蘭支部       |           |           | 近畿   | 大阪自動車リサイクル協同組合   | 11月5日(金)  | 天満橋エルおおさか      |
|      | 北自協 函館支部       | 10月22日(金) | 未定        | 中国   | ヴァークルリサイクルクラブ 山口 | 10月20日(水) | 下松市地域交通センター    |
|      | 北自協 旭川支部       | 10月20日(水) | 未定        |      | ヴァークルリサイクルクラブ 広島 | 10月21日(木) | 広大サタケメモリアルホール  |
|      | 北自協 北見支部       | 10月19日(火) | 未定        |      | 山陰ELVリサイクル協議会    | 10月22日(金) | ホテル東伯イン        |
|      | 北自協 帯広支部       |           |           |      | 岡山自動車リサイクル協同組合   | 10月23日(土) | イベントホールみのるガーデン |
|      | 北自協 釧路支部       |           |           | 四国   | 愛媛自動車部品リサイクル協同組合 | 12月4日(土)  | 未定             |
| 東北   | 岩手県ELV協議会      | 11月11日(木) | 盛岡グランドホテル |      | 高知県自動車リサイクル協同組合  | 12月4日(土)  | 未定             |
| 関東中  | 東京自動車リサイクル協議会  | 12月5日(日)  | タワーホール船堀  | 九州   | 北九州ELV協同組合       | 11月20日(土) | 北九州ELV協同組合     |
|      |                | 11月23日(火) | 調布市文化会館   |      | 宮崎県ELV協同組合       | 11月16日(火) | ウエルティエ宮崎       |
| 関東東  | 茨城自動車リサイクル協同組合 | 11月23日(火) | ワークプラザ勝田  |      |                  |           |                |

### jaeraニュースレター

一般社団法人日本ELVリサイクル機構 広報チーム 発行  
 〒105-0004 東京都港区新橋3丁目2番2号 一美ビル5F  
 tel 03-3519-5181  
 fax 03-3597-5171  
 e-mail jaera-office2@clock.ocn.ne.jp

◇9月の鉄スクラップ動向

電炉各社の7、8月の夏季減産が終了し、9月に入ると粗鋼の生産量が回復した。しかし、為替円高の影響などで輸出価格が下落したため、国内相場は先安観が広がった。しかし、市中発生量の低迷が続き、鉄スクラップの需給関係は「均衡」状態を保ったことから、鉄スクラップの国内相場は横ばいを続けた。

普通鋼電炉は、生産が回復したものの、例年に比べるとはるかに低水準の状況が続いている。また、高炉メーカーは下期減産の見通しで、市中スクラップの購入量を減らす動きとなった。このため、輸出市場の不振もあり、鉄スクラップの相場下落が予想された。

ただ、普通鋼電炉は夏場に値上げした鋼材販価の維持も必要となり、鉄スクラップ購入価格の引き下げには消極的だった。また、特殊鋼電炉の生産は好調で「年内は好調な生産が続く」（関係筋）見通し。一方で自動車減産などにより下期の工場発生スクラップは減少するため、新断相場などが高止まりし、相場を下支えた。

その後、28日、東京製鉄が田原工場を除く4工場の鉄スクラップ購入価格を値下げし、全国的に一段安の展開となった。鉄スクラップの海外市場はトルコの引き合いが相場に大きな影響を与えた。欧米シッパーは、トルコが引き合いを強めた時期には、アジア向けにCFR420～430ドルを唱えるなど強気の姿勢となり、トルコの引き合いが収まると値下げ要求に応じるといった姿勢を続けた。9月下旬の米No.1ヘビーの東アジア向け輸出価格は、気配値で1トあたりCFR400～410ドルどころと見られる。

一方、日本スクラップの輸出価格は、為替相場が大幅に円高に振れたことから割高感が強まり、新規成約が困難となった。このため、台湾、東南アジア筋は市場から後退したままのため、韓国ミルが主導権を握って値下げを要求。日本側商社・シッパー筋は、H2・FOB3万500円とFAS換算で3万円以下の成約に応じた。しかし、日本国内相場が予想以上に底堅く、値下がりが限定的だったことから、9月下旬には安値成約に難色を示し始めた。

◇関東地区 ー東京製鉄・宇都宮の値下げ改定からジリ下げにー東京製鉄宇都宮工場が9月28日から鉄スクラップ購入価格を1ト

あたり500円値下げし、特級炉前を3万2000円としたことを受けて、関東地区の電炉に値下げが広がった。同日中に普通鋼電炉8社が値下げを実施。それまでにすでに値下げを行っていた電炉もあり、ジリ下げの展開が続いている。

この展開により、関東地区のH2炉前実勢価格は、1トあたり3万～3万1500円中心、高値3万2000円見当となった。高値圏は下がったが、安値は3万円を維持した。湾岸浜値は、中心値が2万9500～3万円どころとなっている。

◇東海地区 ー1カ月余りの横ばいこう着状態から弱基調へー名古屋地区の鉄スクラップ市況は、ここ1カ月余りは様子見横ばいからこう着状態にあったが、9月28日の東京製鉄の値下げにより一転して弱基調へと気配が変わった。H2炉前実勢価格は1トあたり3万～3万1500円。

新日鉄名古屋が市中スクラップの購入量を大幅に減らしており、価格も25日から1000円値下げした。この動きで一部の上級スクラップに需給緩和の懸念感が出てきた。ただ特殊鋼メーカー各社は生産量を増やす予定で、これは強気材料だ。湾岸価格は、直近のピークから1500円の下げとなり、実勢はH2で3万～3万500円中心と、地場メーカーより割安感があるが、検収の関係で炉前とほぼ同等という声がある。

◇西日本地区 ー東京製鉄の影響で西日本各地で値下がり動きー西日本では、東京製鉄の岡山（1000円下げ）・九州（500円下げ）・高松（同）の各工場が値下がりとなった影響で、各地区ともに電炉の値下げが相次いだ。

大阪地区では28日からほぼ半数の電炉が鉄スクラップ購入価格を引き下げた。この結果、大阪地区のH2炉前実勢価格は3万1000～3万2000円、一部高値3万3000円となった。一部では東京製鉄・岡山工場の購入価格帯を上回っている筋があり、まだ下げの余地が残る市況展開となっている。

姫路地区では、28日にヤマトスチールが500円、その他2社が1000円値下げし、実勢は3万1500円どころと、やはり値下がり展開となった。■

(※各地の価格動向は9月28日時点のもの)

9月第3週(19～25日)の国内スクラップ市中実勢価格

|     |     | H2            | 気配     |
|-----|-----|---------------|--------|
| 関東  | 北関東 | 26,300～26,800 | 弱含み様子見 |
|     | 南関東 | 26,300～26,800 | 弱含み様子見 |
| 名古屋 |     | 28,000～28,500 | 横ばい    |
| 関西  | 大阪  | 29,500～30,500 | 様子見    |
|     | 姫路  | 30,000～30,500 | 様子見    |



～編集後記～

- ◇ この間までの暑さにホトホト参ったのは一人編集子のみではなかったと思う。連日の記録破りの猛暑の報に、ひょっとして秋はやってこないのでは、とさえ思われたが、季節は巡り、彼岸が告げられると急速に秋めいて来た。反動でとんでもない酷暑に襲われるのではとの心配の声さえ聞かれる。
- ◇ 本号から、(株)日刊市況通信の協力を得て、市況情報を連載する。市況の動きに一喜一憂する必要はないものの、市況の傾向をしっかりと把握して利益に繋げる助けになることを期待する。
- ◇ インストラクター研修に参加された全国のインストラクターの皆さん、本当にお疲れ様。次に控える全国講習は皆さんの

- 出番。講師として活躍されることを大いに期待しています。
- ◇ その地域講習会では、多くの地域でELV機構会員以外にも参加を呼び掛けることとなった。それを機に、各地域団体の会員増強が進んでほしいと期待が膨らむ。
- ◇ 秋場所で連勝記録を62に伸ばして優勝した横綱白鵬関。稀代の大横綱双葉山の連勝記録69に手が届くところまで上り詰めた恐るべき25歳はどこまで進化していくのか。国技館に掲げられる優勝力士の額から日本人力士が消えたのは寂しい限りだが、白鵬関には相撲人気の回復を担って頑張ってもらいたいものだ。■

(編集子)